

# 学校トイレ改修事業

## 文部科学省に要望し、自民党議員団として事業の拡大実施を実現

- ① 国の「緊急経済対策」に基づく「地域の元気臨時交付金」が創設され、対象事業として3年計画の予定だった板橋区サマカン事業が前倒しして、平成25年度単年度事業に変更されました。
- ② 元計画では大便器約460個、対象学校39校での洋式化を3年計画で行う予定が、大便器約1,500個、小便器約1,000個、対象学校51校で交換することになり、学校の環境が改善（和式から洋式、床のドライ化、ブース変更等も含む）します。総経費9億8千万円（国からの交付金7億7500万円）です。対象校を拡大し、前倒しで実施となります。
- ③ 2013年11月頃から2014年3月までの間に対象校では改修工事が実施され、大規模改修未実施の小中学校でトイレ環境の改善が図られました。

